

新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、2022年第48週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

方法等

対象期間

令和4年 第48週分 11月29日～12月5日公表分

症例定義

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において
上記期間に富山県内で報告された症例
→ 7,693例

情報源

富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

図1. COVID-19流行曲線（富山県）

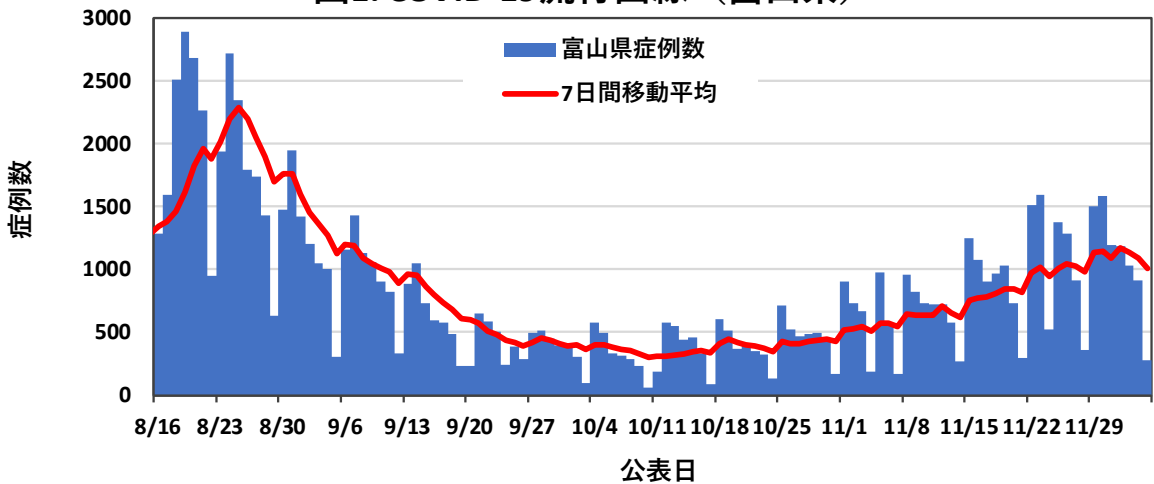
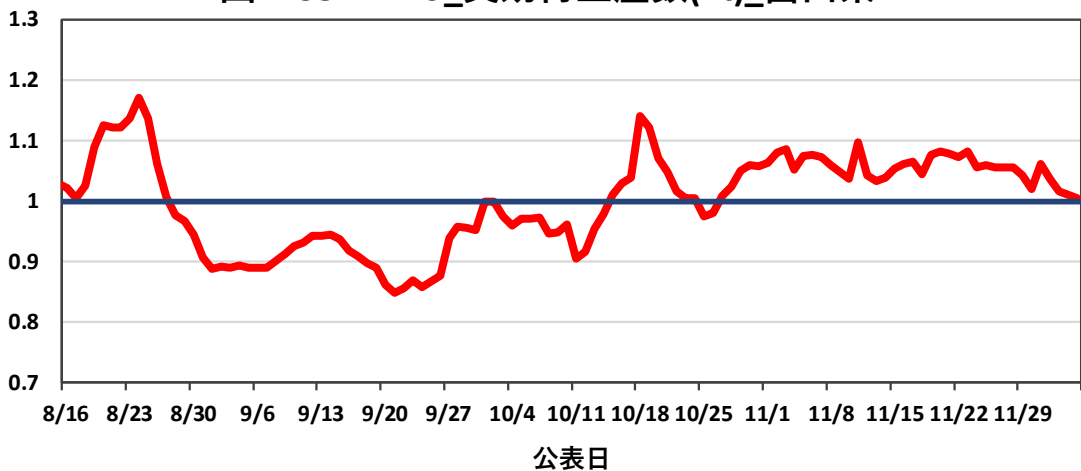


図2. COVID-19_実効再生産数(Rt)_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、48週）

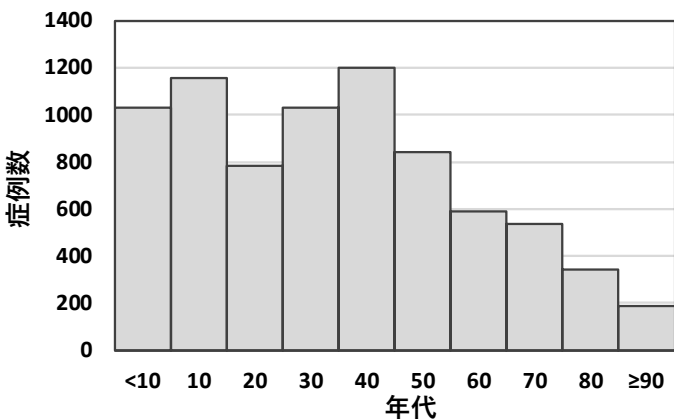


図4. COVID-19年代別割合（富山県、48週）

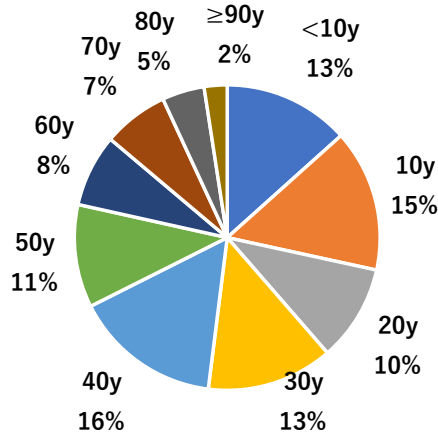


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

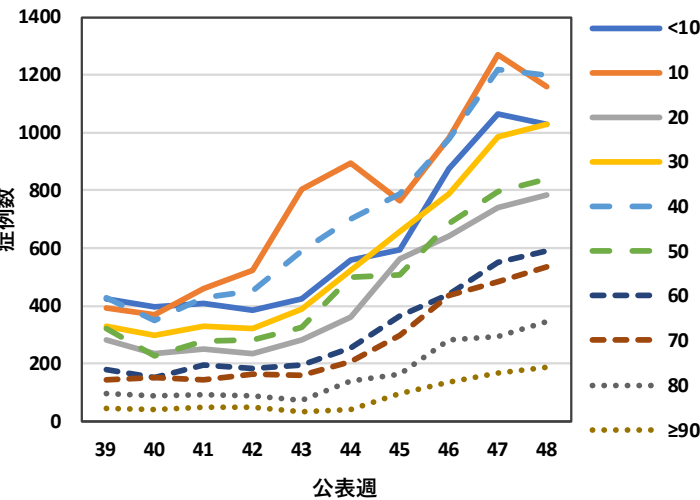
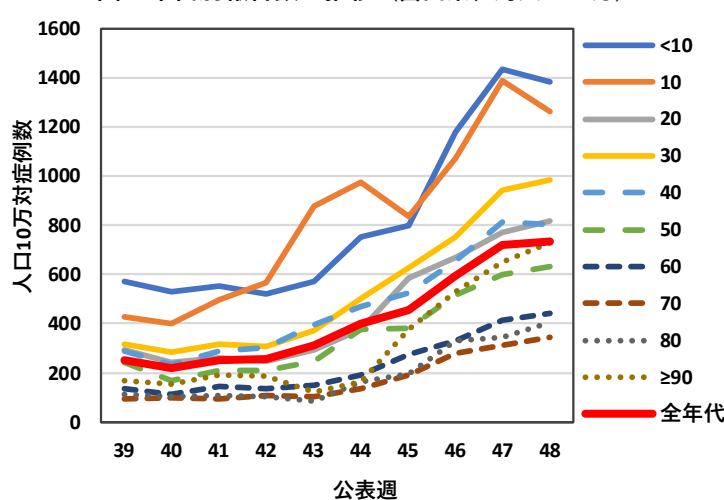


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



12月5日時点での所見と評価

- 第48週の新規報告数は、7,693例。先週（7,566例）からやや増加したが、高止まった印象（図1）。
- 実効再生産数（図2）は、今週低下傾向であり、12/5時点で1.00。
- 第48週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。40歳代が最も多く16%を占めた。次いで10歳代、10歳未満、30歳代の順に症例数が多い状況。60歳以上の年代は22%を占め、先週（20%）から増加した。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。10歳未満（青実線）、10歳代（橙実線）は先週まで増加傾向であったが、今週はやや減少した。一方、40歳代（水色点線）は横ばい、他の年代は緩やかな増加が続いている。